

平成29年度

学校運営に関する計画



大阪市立安立小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、多くの子どもたちが、学習や活動で主体的に一生けん命取り組むことができる。音楽や図工などにおいても、イメージをふくらませながら生き生きと表現でき、様々な場面で自分の言葉で自然に話せる姿も多く見られるようになってきた。

その一方で、平成 29 年度の小学校学力経年調査においては、3～6 年、いずれの学年においても、大阪市平均を上回ることができていない。また、平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査においても、男女とも、ほとんどの領域において、大阪市平均を下回っている。さらには、道徳心・社会性および自尊感情等において、十分な高まりが見られない状況がある。今後に向けた克服すべき課題として、次の 4 点があげられる。

- (1) 一人ひとりの児童に対して、学力および体力・運動能力を十分に保障している状況には至っていない。個に応じた効果のある学習指導を追求し、成果につなげていく必要がある。
- (2) 道徳心・社会性における成長に関して、個人差が存在する。健全な集団育成に向けた取り組み等の中で、一人ひとりの意識および実践力を高めていかなければならない。
- (3) 力強く未来を切り拓くためには、自尊感情が不可欠である。集団の中で認め合い支えあいながら、「自己有用感に裏付けられた自尊感情」を高めていく必要がある。
- (4) 豊かな教育環境が、十分に整備されているとは言えない状況がある。学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちが健全に成長していくための教育環境を実現していく必要がある。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ① 健全な集団育成をめざした教育実践を推進する。その結果として、平成 32 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 98%以上にする。
- ② 「自己有用感に裏付けられた自尊感情」を高める教育実践を推進する。その結果として、平成 32 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 70%以上にする。
- ③ 違いを認めあい支えあう意識を高める教育実践を推進する。その結果として、平成 32 年度の学校アンケートにおいて、「おたがいを認めあい支えあいながら、学校生活を過ごしていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 80%以上にする。
- ④ 「人間力あふれる楽しくてあたたかい学校」をめざした教育実践を推進する。平成 32 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 80%以上にする。
- ⑤ 地域・家庭と連携しながら、防災・減災教育を推進する。その結果として、平成 32 年度の学校アンケートにおいて、「災害のときに、自分の命を自分で守る方法を学習しましたか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 80%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ① 基礎・基本を軸に、個に応じた効果のある学習指導を推進する。その結果として、平成 32 年度の小学校学力経年調査における国語科および算数科の標準化得点を、47 点以上に高める。
- ② コミュニケーション力を高め「主体的対話的で深い学び」を実現する教育実践を推進する。その結果として、平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、65%以上にする。
- ③ 発達段階に応じて体力・運動能力向上に向けた教育実践を推進する。その結果として、平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を、大阪市平均との差を 3 ポイント以内まで減少させる。
- ④ 運動に親しむ資質の基礎を育てる教育実践を推進する。その結果として、平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、88%以上に高める。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- ② 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 88%以上にする。
- ③ 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を、前年度より減少させる。
- ④ 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ① 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を、前年度より増加させる。
- ② 平成 29 年度の学校アンケートにおける「おたがいを認めあい支えあいながら、学校生活を過ごしている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を、85%以上にする。
- ③ 平成 29 年度の学校アンケートにおいて、「災害のときに、自分の命を自分で守る方法を学習している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 75%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。
- ② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 54%以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
- ③ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 75%以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。
- ④ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ⑤ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である 20m シャトルランと反復横とびの平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- ① 平成 29 年度の小学校学力経年調査における無解答率について、全学年 5 %を下回るようにする。
- ② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- ③ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を、大阪市平均との差を 4 ポイント以内まで減少させる。
- ④ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、87%以上に高める。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立安立小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成 状況 |
|---|----------|
| <p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 A</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>① 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>② 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 88%以上にする。</p> <p>③ 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を、前年度より減少させる。</p> <p>④ 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を、前年度より減少させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>② 平成 29 年度の学校アンケートにおける「おたがいを認めあい支えあいながら、学校生活を過ごしている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を、85%以上にする。</p> <p>③ 平成 29 年度の学校アンケートにおいて、「災害のときに、自分の命を自分で守る方法を学習している」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 75%以上にする。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗 状況 |
|--|----------|
| <p>取組内容①【施策 3 道徳心・社会性の育成】</p> <p>すすんであいさつのできる子どもを育てる。(道徳教育の推進)</p> <hr/> <p>指標 週 1 回以上、あいさつの意義を各学級で確認しながら、実践意欲を高める。</p> | |
| <p>取組内容②【施策 3 道徳心・社会性の育成】</p> <p>「学校のきまりを守る」ことの大切さを理解し、実践できる子どもを育てる。(道徳教育の推進)</p> <hr/> <p>指標 週 1 回以上、「きまりを守る」ことの意義を各学級で考えさせながら、実践意欲を高める</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>取組内容③【施策3 道徳心・社会性の育成】</p> <p>体験的活動等を通して、違いを認めあい支えあいながら共に生きる意識および実践力を高める。（道徳教育・キャリア教育・多文化共生教育・インクルーシブ教育の推進）</p> <p>指標 体験的活動を軸に、各学年において、生活科・総合的な学習および道徳等を、効果的に展開する。</p> | |
| <p>取組内容④【施策3 道徳心・社会性の育成】</p> <p>きょうだい学級を編制し、活動の活性化を図り、異学年交流を深める。（道徳教育・キャリア教育・多文化共生教育・インクルーシブ教育の推進）</p> <p>指標 毎週金曜日20分休みに、きょうだい学級での活動を実施する。（なかよしタイム）</p> | |
| <p>取組内容⑤【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>いじめ対策委員会を中心に、子どもたちの状況を全教職員で共通理解し、対策を講じる。（いじめ・暴力行為等防止対策）</p> <p>指標 情報共有を図り、対策委員会を月1回実施し、必要に応じて対策を打ち出す。</p> | |
| <p>取組内容⑥【施策2 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>防災・減災に向けた指導を、学校総体で取り組む。（「防災・減災教育」の進化）</p> <p>指標 保護者・地域と連携した防災体験学習を実施する。</p> | |
| 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 | |
| | |
| 次年度への改善点 | |
| | |

大阪市立安立小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】B-1<学力></p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>① 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。</p> <p>② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 54%以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</p> <p>③ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 75%以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。</p> <p>④ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 平成 29 年度の小学校学力経年調査における無解答率について、全学年 5 %を下回るようにする。</p> <p>② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を知る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>学校図書館補助員を活用した学校図書館等「子どもたちが読書に親しむ環境」を高め、言語力の向上につなげる。(学力の向上)</p> <hr/> <p>指標 毎週水曜日の朝に読書タイム・シャッフル読書等を全校で実施し、子どもたちが集中して読書に取り組めるようにする。</p> | |
| <p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>様々な学習や活動の場面で、思考力・判断力・表現力を育む取り組みを推進する。(「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p> <hr/> <p>指標 ひとりひとりの子どもたちが思考力・判断力・表現力を発揮し高め合える場面を、1 日 1 回は各学級で実現する。</p> | |
| <p>取組内容③【施策 4 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>ICT を有効に活用し、わかりやすい授業および協働的な学びを実現する。(ICT を活用した教育の推進)</p> <hr/> <p>指標 ICT を活用した授業を、各学級週 4 回は実施する。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>取組内容④ 【施策4 国際社会において生き抜く力の育成】 発達段階に応じ、「聞く」「話す」など英語コミュニケーション能力の基礎を育む。 (英語イノベーション)</p> | |
| <p>指標 全学年で、週3回各15分の英語モジュール学習を実施する。</p> | |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> | |
| | |
| <p>次年度への改善点</p> | |
| | |

大阪市立安立小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】B-2 ＜体力・健康＞</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>① 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である 20 m シャトルランと反復横とびの平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を、大阪府平均との差を 4 ポイント以内まで減少させる。</p> <p>② 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、87%以上に高める。</p> <p>③ 平成 29 年度の学校アンケートにおいて「早ね早起きをしている」を 80%以上に、「朝ごはんを、毎日食べている」を 88%以上に、それぞれ児童の割合を高める。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】 体育科を研究教科とし、「運動に親しむ資質や能力の基礎」を育てるための授業の構築をすすめる。 (体力・運動能力向上のためのカリキュラムの作成と実践)</p> <hr/> <p>指標 低・中・高学年で、体育科の研究授業を、それぞれ 1 回行う。</p> | |
| <p>取組内容②【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】 子どもたちが主体的に学習をすすめるための環境を整備する。 (スポーツ環境の整備)</p> <hr/> <p>指標 体育部会を月 1 回実施し、必要な環境整備について検討する。</p> | |
| <p>取組内容③【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】 健康的な生活習慣への理解を深め、体力・運動能力が高まる環境を整備する。 (スポーツ環境の整備)</p> <hr/> <p>指標 学期ごとに 1 週間、手洗い週間を実施し、意識と実践力を高める。</p> | |
| <p>取組内容④【施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成】 健康に関する正しい知識と健康的な生活習慣を定着させられるように取り組みをすすめる。 (スポーツ環境の整備)</p> <hr/> <p>指標 「保健だより」等を活用した指導および保護者への啓発活動を、月 1 回行う。</p> | |

| | |
|--|--|
| <p>取組内容⑤【施策6 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>食に関する正しい知識と望ましい食習慣を定着させられるように取り組みを すすめる。 (食育の推進)</p> | |
| <p>指標 発達段階に応じた主題を設定し、栄養指導および保護者への啓発活動を行う。</p> | |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> | |
| | |
| <p>次年度への改善点</p> | |
| | |

大阪市立安立小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

| | | |
|------|---------------------|------------------------|
| 評価基準 | A：目標を上回って達成した | B：目標どおりに達成した |
| | C：取り組んだが目標を達成できなかった | D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった |

| 年度目標 | 達成状況 |
|--|------|
| <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】B-3 ＜教職員研修＞</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>① 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。</p> <p>② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 54%以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</p> <p>③ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 75%以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。</p> <p>④ 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>⑤ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である 20 mシャトルランと反復横とびの平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 平成 29 年度の小学校学力経年調査における無解答率について、全学年 5 %を下回るようにする。</p> <p>② 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>③ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点を、大阪市平均との差を 4 ポイント以内まで減少させる。</p> <p>④ 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、87%以上に高める。</p> | |

| 年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標 | 進捗状況 |
|---|------|
| <p>取組内容①【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>組織的計画的に研修をすすめ、指導力向上および教育実践の創造につなげる。 (教職員の教育力向上のための研修や学びの機会づくり)</p> <hr/> <p>指標 全教員が、年間 1 回は必ず研究授業を行う。</p> | |
| <p>取組内容②【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>外部講師を招へいし、授業・教材研究を実施する。 (教職員の教育力向上のための研修や学びの機会づくり)</p> <hr/> <p>指標 体育科を中心に、講師を招へいする研究会を、年間 3 回以上行う。</p> | |

| | |
|---|--|
| <p>取組内容③【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>「若手教員が研修を深める場」を計画的に設定し、全体の指導力向上につながる。 (教職員の教育力向上のための研修や学びの機会づくり)</p> | |
| <p>指標 若手教員対象の学習会を、月 1 回以上実施する。</p> | |
| <p>取組内容④【施策 8 施策を実現するための仕組みの推進】</p> <p>研究・研修の成果を、日々の学習に活かす。 (教職員の教育力向上のための研修や学びの機会づくり)</p> | |
| <p>指標 授業デザイン力を身につけるために、各学年で 1 単元は体育科において効果のある指導計画を立て、実践する。</p> | |
| <p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> | |
| | |
| <p>次年度への改善点</p> | |
| | |

